

# i P a d 活用票

キーワード	国語、詩の音読、カメラ（動画／i P a d 標準搭載）、自己評価、相互評価		
高等部 3 年	領域 教科	国語	
単元名	詩文に親しもう		
使用したアプリ	・カメラ（動画／i P a d 標準搭載）		
どのように活用したか	<p>・詩の音読の学習の際に、音読の様子を 2 m 程度離れた所から動画撮影して生徒に提示することにより、音読のスピード、声量、声のトーンなどは適切か、自己評価したり、相互評価できるようにする。</p> <p><b>児童生徒の様子はどのようだったか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・音読の様子を動画で見ることにより、「もっと、大きな声でゆっくり音読した方がよい」「顔を上げた方が声が大きく聞こえる」などの発言があり、自ら音読の様子を自己評価していた。</li><li>・生徒間の相互評価もあり、他生徒からの評価の内容も同じだったので、自己評価に対する自信を深める生徒が多かった。</li><li>・以上のような自己評価と相互評価の後、再度、音読を行ったところ、以下のような改善が見られ聞きとりやすくなった。 声量が大きくなった。 音読のスピードがゆっくりになった。 語尾が聞き取りやすくなった</li></ul>		